

# 第8回 BOX展作品集

QAQA 一般社団法人 日本建築美術工芸協会



最優秀賞 堤一彦 月を抱く種子

# 第8回BOX展 開催報告

開催日：2025年6月8～14日

会場：建築会館1階ギャラリー（東京・港区）

第8回となる今回は、建築・美術・工芸の境界を越えた素材・形状が自由な創作作品59点（会員23点、一般31点、学生5点）のご応募をいただきました。また会期中には250名を超える来場者がありました。

今回のテーマは、「夢があって、挑戦的で、思いが形に」。30cm立方という定められた空間の中で表現されたそれぞれの作品は一つとして同じ形はなく、石・漆喰・木・紙・金属・織布・うるしなど多様な素材を使い、その特性を駆使し豊かに表現されていました。糸から紡ぐ柔らかな風合いを活かしたり、ステンレスという固い素材を柔らかく表現したり、電気を使用したり、耐震構造をバネで作ったり。多岐にわたる夢のある作品にギャラリーは華やいていました。

ギャラリートーク後には、建築会館の中庭にて懇親会を実施。広々とした屋外空間で場も盛り上がり、通常では接する機会がない会員同士の理解を深める貴重な場となりました。

最終日には表彰式を実施。米林雄一審査委員長から審査講評をいただいた後、東條会長から表彰状が授与されました。

ご協賛をいただきました、大成建設株式会社、株式会社竹中工務店、株式会社三菱地所設計、株式会社大林組、株式会社佐藤総合計画、株式会社久米設計、株式会社エフワンエス、株式会社クサカベ、クラフト11、株式会社名村大成堂、光ステンド工房、株式会社文房堂には、厚く御礼申し上げますとともに、株式会社フッコーをはじめ運営にご協力、ご支援いただきました皆様に深謝申し上げます。

来年開催の第9回BOX展への準備はもう始まっています。多くの皆様のご応募を展覧会委員会一同、心よりお待ちしております。  
(展覧会委員会)

## ■審査総評

### 第8回BOX展について

審査委員長 米林 雄一

aacaが主催するBOX展の開催は8回目を迎えました。今回は、事前に、建築・デザイン・クラフト・工芸・絵画・彫刻などで活躍されている他の審査員と話し合い、公募にあたってのテーマを「夢があって、挑戦的で、思いが形に」としました。応募数は59点。その中から11点を受賞作に選定されました。（そのほか1点がオーディエンス賞に選ばれました）

本展はまだ小規模ですが、近年応募数が増えています。既存の発表活動とは違い、必ずギャラリートークが実施され、全出品者が制作意図等を熱心に発表する機会、出品者の声を聴く機会となっていることは注目すべきことと思います。一方、時代にあったBOX展のあり方を再考することも必要です。建築・美術・工芸が共に活動するaacaの特性を生かし、新しいアート活動や新たな発表の可能性を目指す機会として、さらに発展することを期待しています。

## ■審査委員

・審査委員長

米林 雄一 東京藝術大学名誉教授 彫刻家

・審査員（五十音順）

齊木 慶一 株式会社 スペース・メニュー・ラボ代表取締役

長尾 俊夫 株式会社 剣持デザイン研究所 所長

中野恵美子 織造形作家

横山 徹 青山学院大学名誉教授 彫刻家



●最優秀賞



堤 一彦 月を抱く種子  
白大理石

<審査講評>大理石を素材に種子の発芽を連想させる造形は、石の性質と巧みな技法で端正な美しい形にむすびつけている。完成度が高く、全員一致で決定した。

●優秀賞



二木啓子 怪獣5号  
陶芸 還元焼成

<審査講評>日本列島のどこかで災害が起きている。その地域ごとに持ち上げて運ぶ山脈の様な怪獣は、荒唐無稽でユーモラスで夢があるといえる。作者はセラミック技法も高く楽しみながら作っている感じが評価された。



横沢和則 宇宙からの宅急便  
真鍮パイプ、造花用ワイヤー、硬質発泡アクリル、リキテックス & メディウム

<審査講評>作品は構成する線材と内部の有機的な形の組合せだが、どこか夢があって、造形的なセンスを感じられた。制作意図も、今日のだと思う。



## 受賞作品

### ●佳作



青山莉緒 a box  
大理石

<審査講評>大理石で手彫りの感覚を大切に箱型の形を作り出している。作者の言葉「のみでひとすじ彫る時、ひとすじずつ石を包んでいくような感覚がある」は、素直な実感だと思う。素材との対話を続ける正攻法の進め方で好感もてる。



五十嵐通代 たまゆら  
技法 織 素材 絹糸、テグス、植物染料

<審査講評>作品はソフトラブチャーに属する。万葉集「玉響」から来ていると思うが、有機的なゆったりとした形が美しく、気持ちが良い作品だ。金属の属性を広げ、新しい可能性を感じた。



池田嘉文 once upon a dream (いつか夢で)  
FRP (強化プラスチック)

<審査講評>このタイトルをネットで調べると、ジャズ・ロック・映画・ゲームと多くのクリエイターが刺激を受け、テーマとしている。作者の心情の形と思えた。具象の人物もそれなりに良く出来ているが、次はアブストラクトで作ることに挑戦してみてもいいでしょう。



神 まさこ 不協和音  
MIX

<審査講評>陶と錫の組合せに取り組み実験的を重ねている。素材の緊張感のぶつかり合いで、次に何が現れるのか、とにかく錫は魅力的で古くからおもしろい素材だ。挑戦的な取り組みを評価した。



神 芳子 be born  
タタミ

<審査講評>今回大きさが30cm立方でしたが、シュレッターの紙からはなれて小さなものを巨大化するか見え方の変換をもっと極端に差をつけるなどしてみてもどうだろう。増幅や拡大は21世紀美術のキーワードだ。何か魅力のある作品だ。



武田亜希子 月翼  
ステンレス・彫刻 (溶接)

<審査講評>詩的な作者の言葉が付いていた。ステンレスの小作品の中に、わかりやすい形をおとこんでいるのが見事だ。さらに空間性を大切に強弱を生かすなり、研究が深まることを期待している。

### ●特別賞



中島敦子 ここではない何処か  
漆、麻布、鮑貝、金箔、錫粉、ウズラの卵殻  
麻布が漆で固まっている

<審査講評>マスクというより、漢字の仮面がまっているような気もする。作者は大きなテーマを念頭に「ここではない何処か」を果敢にとり組まれている。漆は奥深い素材であり、挑戦的で、次の展開が楽しみだ。



渡辺雅夫 端材の街  
木工・各広葉樹、漆喰、鉄筋、他

<審査講評>建築家の目線で都会のビル群の「風景彫刻」で、しかも免震構造をスプリングで、表現するなど、楽しい作品。皆さんで特別賞に決定した。

### ●オーディエンス賞



高須好子 貝  
刺繍 絹地 綿糸 麻糸 毛糸 ワイヤー

来場者からの投票で、オーディエンス賞に選ばれました。

●出品作品



相澤久徳 外は  
黒御影石 レリーフ



青木峰雄 WAR 2022-2025  
陶土 他



青山友子 或る統計  
MDF ボード、ヘマトクリット毛細管



阿部剛士 Staionery Station 四ツ谷  
ミクスドメディア



伊藤愛里彩 風の旅人  
模型



犬飼三千子 何をかけるかな？  
木版画



大河内久子 時を超えて  
木



大沢拓也 La Piere  
合板の上にテラゾー（株式会社フッコー製ラビエール）墨による線描



大田敏彦 中田林業 北山 内蔵アンブタイプ  
京都北山天然紋り丸太杉 3D プリンター NC 加工機 ハンドワーク



大田敏彦 外付けアンブタイプ 北山  
京都北山天然紋り丸太杉 3D プリンター NC 加工機 ハンドワーク



大谷ナオコ 光泉 /Fountain of Lights  
陶、ガラス、陶土による成形〜ガラスを加えた焼成



岡本 覚 さざ波 -Gentle Waves  
Recycled glass

# 出品作品



岡本 賢 枯葉よ  
水彩画



柏尾 栄 永遠の宇宙に乾杯!  
陶器 (胎土信楽白土 白化粧土のイッチンに栗皮灰釉 還元焼成)



木内静夏 出会ってしまった真紅のバラ  
30×30×3.7 3Dキャンバス 油彩



きたがわゆきこ たおやかなるおはなし  
ワイヤー、和紙こより糸、オーガンジー布、糸  
つずれ織と縫い



きたがわゆきこ Stone city in the sky  
ステンレス網、麻布、オーガンジー、テグス糸、カラー  
糸、陶粘土 染め、縫い



久野博美 木精  
布 刺繍糸 木 / 織 刺繍



熊谷佐知子 結び  
布 (ボンジ)



栗田陽介 Cloud house  
黄ボール、ステンレボード



コスター理穂 母と子と祖母と  
こけし 布 糸 針



齋藤卯乃 紫風  
漆・乾漆技法



齋藤潮美 Travessia 道、あるいは人生  
漆、金銀砂子



笹岡かおり 宙を漕ぐ  
羊毛、毛糸、ビーズ、水晶、プラスチック、編み針



笹岡かおり 泉  
羊毛、ワイヤー、鉛、木の实、ガラス



重田恵美子 Tomorrow- 祈り  
ステンレス・真鍮



品川未知子 裏？ 表？  
刺繍



千田万恵 オナガドリ  
ガラス（絵付け）陶芸（炭化）



高崎眞知子 Magic Hat  
素材 木綿、羊毛、金属 技法 綴れ織



高橋依純 popcorn  
素材：綿  
技法：シルクスクリーン・オパール加工・浸染



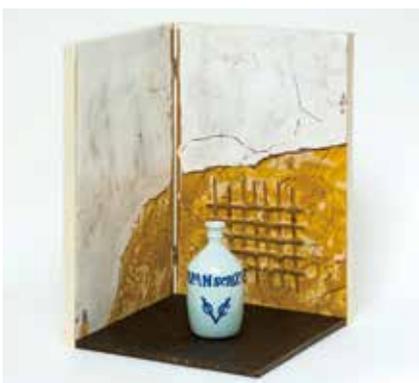
ディミトロヴァ小泉ミレナ 吹き抜けのある立体紙



tinto tinta（板場佳代子・酒井アキノ） Reframing  
型染め、草木染め、象嵌



寺本沙香江 「宙翔」  
創作フェルト



中島榮一郎 漆喰小舞  
漆喰、顔料



西 幸恵 再生  
紙、和紙、ドライフラワー 絵の具（一部）



西 幸恵 再生  
紙、和紙、ドライフラワー 絵の具（一部）

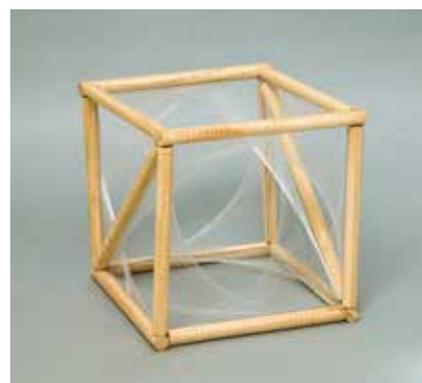
## 出品作品



深井美智子 CONTRAST  
素材・皮籐・塩化ビニール・ステンレススチール  
技法・ルーピング



福島香代子 侵食  
羊毛 真綿 フェルト



柘谷 豪 『緊張、そして揺らぐ』  
木材、ナイロン道糸、チェーン



妙川幸子 りんご  
石膏 純金箔 顔料



山崎哲夫 円環と揺らぎ  
木



山崎妃穂 変転  
陶器



山崎優也 マジックツリーハウス  
紙、絵の具、3Dプリンターで作成した模型、木の模  
型、芝生模型、ボード



横河 健 平成の2畳台目  
作品名に現れているように平成とは、今までに無い  
というとおり、ガラスとアルミと和紙による茶室



渡辺真希子 La Carapace (ラ カラパス)  
ウェットフェルティング (シルク・ウール)、パッチワー  
ク (布)、ビーズ刺繍

発行日 2025年8月30日  
発行 一般社団法人 日本建築美術工芸協会  
〒108-0014  
東京都港区芝5-26-20 建築会館6階  
TEL 03-3457-7998  
FAX 03-3457-1598  
URL <http://www.aacajp.com>  
E-mail [info@aacajp.com](mailto:info@aacajp.com)

編集 展覧会委員会  
担当理事 山崎 和子・三塩 達也  
アドバイザー 山極 裕史  
委員長 飯田 郷介  
副委員長 齋藤 卯乃  
委員 石垣 健・犬飼 三千子  
高崎 真知子・高須 好子